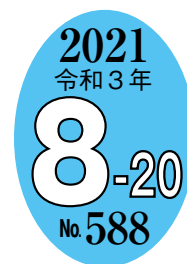




地域を見つめる経済情報誌

長野しんきん 北信地区経済動向



「すかい」(sky: 空)は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけします。

月例調査レポート



野尻湖 静かな湖畔の 森のかげから♪

賑やかになりすぎた軽井沢を離れ、静かな避暑地を捜していた外国人宣教師が芙蓉湖(野尻湖)の湖畔に別荘地を拓いたのは大正10年のこと。

森に囲まれた美しい湖が、彼の祖国カナダの風景と似ていたからでした。

100年の歳月が流れ、野尻湖は日本三大外国人避暑地のひとつとなりました。誰もが輪唱したことのある「静かな湖畔」という詞も、ここ野尻湖が舞台となっているそうです。

- 長野しんきん景況調査レポート..... 2
- 企業アンケート 新型コロナウイルス感染症の影響Ⅳ ② 6
- インタビュー 変革期の経営ビジョン 8
- 北信濃 江戸時代の風景 (84) 善光寺の東方 10

「すかい」は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫 すかい](#)



生産は3カ月ぶりの低下 前年同月比は4カ月連続の上昇

◇2021年5月の長野県鉱工業指数

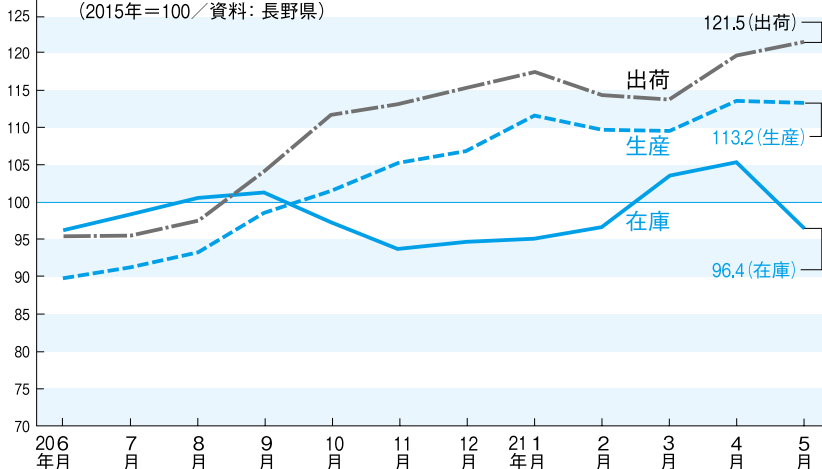
(速報：季節調整済指数)

生産は113.2(前月比▲0.3%)で3カ月ぶりの低下、出荷は121.5(同+1.6%)で3カ月連続の上昇、在庫は96.4(同▲8.6%)で6カ月ぶりの低下となりました。

◇前年同月比(原指数)

生産は103.7(前年同月比+23.0%)で4カ月連続の上昇、出荷は112.2(同+28.1%)で8カ月連続の上昇、在庫は96.9(同+0.1%)で4カ月連続の上昇となりました。

●長野県鉱工業の生産・出荷・在庫指数(季節調整済)の推移
(2015年=100/資料：長野県)



[生産] 上昇…その他、はん用・生産用・業務用機械、情報通信機械など8業種

低下…輸送機械、プラスチック製品、金属製品など9業種

[出荷] 上昇…はん用・生産用・業務用機械、情報通信機械、化学など8業種

低下…輸送機械、プラスチック製品、金属製品など9業種

[在庫] 上昇…紙・紙加工品、食料品、鉄鋼業など7業種

低下…はん用・生産用・業務用機械、情報通信機械、電気機械など9業種

月例調査

全産業の「売上高」は減少

前回調査 2021年5月

◇7月調査による[北信地区の経済状況]

全産業(不動産業・旅館業除く)の売上高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(36

%)が3ポイント減少、「減少」割合(33%)が6ポイント増加、「不変」割合(30%)は4ポイント減少、全体としては減少の状況です。

●売上高(生産高・施工高)前年比「増加・不変・減少」割合

矢印は前回調査比 (3ポイント以上の動き) ↗ 増加 → 不変 ↘ 減少
改善 不変 悪化

全産業 (不動産業・旅館業を除く)	前回			今回	今回			回収率
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	割合	
前回	39.3 ↗	33.8 ↗	26.9 ↘					202社(回収率86.0%)
今回	36.4 ↘	30.3 ↘	33.3 ↗					30人未満 73.8%
								30人以上 26.2%
製造業	49.2 →	21.6 →	29.2 →					198社(回収率84.3%)
建設業	36.4 →	35.9 ↘	29.7 ↗					30人未満 73.7%
卸小売業	20.9 ↘	34.9 ↘	44.2 ↗					30人以上 26.3%
サービス業	33.3 ↘	22.3 →	44.4 ↗					65社(回収率77.4%)
輸送業	42.9 ↘	28.5 →	28.6 ↗					30人未満 60.0%
外食業	30.0 ↘	40.0 ↗	30.0 ↗					30人以上 40.0%
								64社(回収率90.1%)
								30人未満 89.1%
								30人以上 10.9%
								43社(回収率84.3%)
								30人未満 81.4%
								30人以上 18.6%
								9社(回収率100.0%)
								30人未満 88.9%
								30人以上 11.1%
								7社(回収率70.0%)
								30人未満 14.3%
								30人以上 85.7%
								10社(回収率100.0%)
								30人未満 60.0%
								30人以上 40.0%

製造業

食料品、金属加工品、一般機械、電気機械、自動車部品、精密機械

「生産高」金属加工・一般機械・自動車部品・精密機械が増加し、全体も増加

製造業の生産高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(49%)が2ポイント増加、「減少」割合(29%)が1ポイント減少、「不変」割合(22%)が1ポイント減少で、全体としては増加の状況です。

●生産高前年比「増加・減少」割合(%)

製造業	前回	47.0	22.7	30.3
	今回	増加 49.2	不変 21.6	減少 29.2
食 料 品	31.3	18.7	50.0	
金 属 加 工	54.5		27.3	18.2
一 般 機 械	80.0		0.0	20.0
電 気 機 械	50.0		33.3	16.7
自 動 車 部 品	100.0			0.0 0.0
精 密 機 械	50.0		50.0	0.0

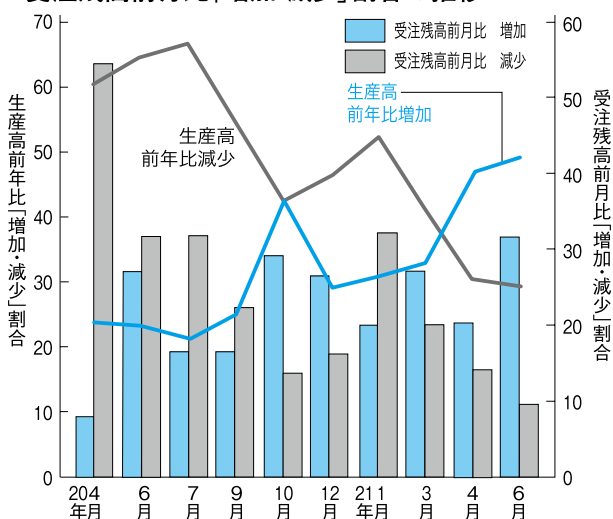
【業種別】増加…金属加工・一般機械・自動車部品・精密機械
減少…食料品・電気機械

【機械稼働】(前回比)稼働率 上昇
上昇割合 (29%) → 34%
下降割合 (15%) → 9%

【受注状況】受注量(前回比) 上昇
増加割合 (20%) → 32%
減少割合 (14%) → 10%
受注残高(1.6ヵ月) → 1.9ヵ月

【受注基調】(前回比) 上昇
上昇割合 (26%) → 35%
下降割合 (18%) → 11%

●生産高前年比「増加・減少」割合と受注残高前月比「増加・減少」割合の推移(％/資料:当金庫)

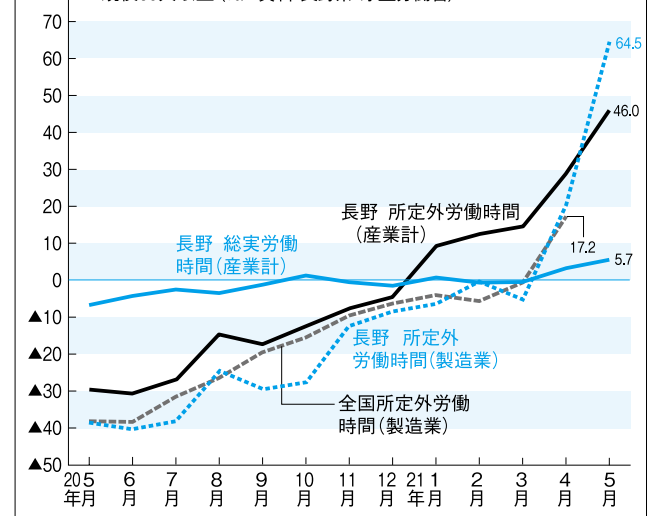


企業からのコメント

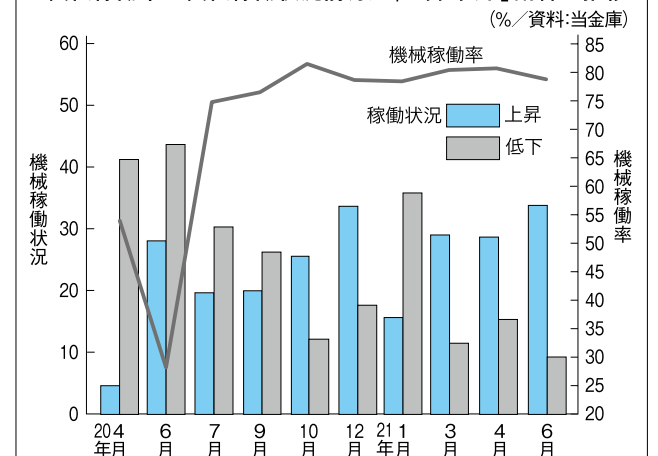
- ☆★コロナ禍における二度目のお中元の時期。巣ごもり需要は落ち着きを見せ、ギフトは例年通りに戻ってきた感がある。今後、小麦粉やそば粉の値上げが業界全体に与える影響を注視したい。(乾そば製造)
- ★ステンレス・鉄ともに材料が値上がりし、オリンピック需要も終わって陰りが出てきている。(金属製品)
- ☆★電子部品は全般に受注は旺盛であるが、材料(銅)不足は解消されていない。また銅材料単価の上昇も懸念される。(電子部品)
- ☆春先には海外受注が復活し、引続き改善している。オリンピック終了後の景気後退のジククスが懸念される。(検眼器)
- ☆競技用やレジャー用のスコープレンズの受注が堅調ではあるが、中国との競合が激しい。(カメラレンズ)

●長野県の労働時間の動き(前年同月比)

規模30人以上(％/資料:長野県・厚生労働省)



●機械稼働率と機械稼働状況前月比「上昇・低下」割合の推移(％/資料:当金庫)



建設業

総合建設、土木工事、建築、各種設備

「施工高」建築が増加するも、全体は減少

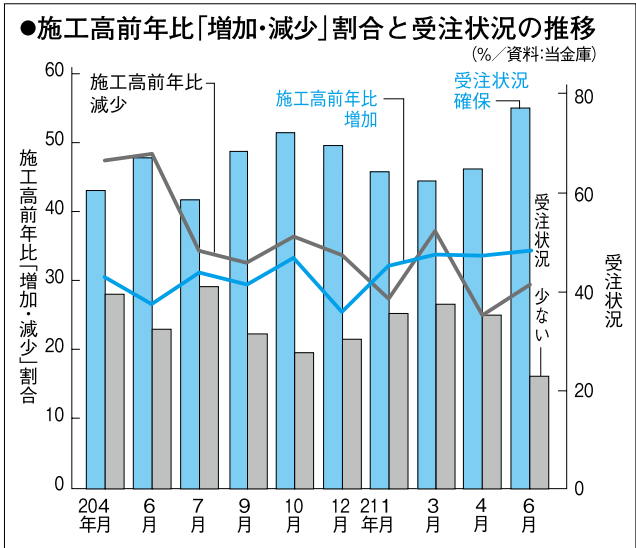
概況

建設業の施工高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合（34％）が1割増加、「減少」割合（30％）が4割増加、「不変」割合（36％）が4割減少、全体としては減少の状況です。

●施工高前年比「増加・減少」割合（％）

建設業	前回	33.8	40.0	26.2
	今回	増加 34.4	不変 35.9	減少 29.7
総合建設業		30.0	20.0	50.0
土木工事業		33.3	41.7	25.0
建築業		34.8	47.8	17.4
各種設備業		40.0	10.0	50.0

業種別	増加…建築
	減少…総合建設・土木工事・各種設備
受注状況	受注残高(前回比) 改善
	「多い・適正」割合 (65％) → 77％
	「少ない」割合 (35％) → 23％



企業からのコメント

- ★☆☆时期的に発注は減少傾向で、災害後の公共事業なども少なくなっている。今後は、企業によるエネルギー関連事業が増えてくると予想する。
(総合建設)
- ★木材に続き、金属製品も秋から値上げとなる予定。今後の引合い、工事等に対しての影響が懸念される。
(一般建築)

4～6月の公共工事（東日本建設業保証取扱分）

長野県の4～6月の発注合計は、1,075.7億円（前年同期比+0.3％）となりました。前年比プラスは「国」の212.6億円（同+14.8％）、「そのほか」の341.9億円（同+28.0％）で、マイナスは「県」の278.1億円（同▲20.2％）、「市町村」の238.4億円（同▲11.9％）でした。

北信地区市町村の発注合計は52.7億円（同▲29.8％）で、うち長野市は15.3億円（同▲61.5％）でした。

●建設業保証取扱分から見た長野県と北信地区市町村の公共工事の状況（2021年6月/2021年4月～6月累計）

（単位＝百万円／資料：東日本建設業保証㈱）

		2021年6月	前年同月比	2021年4月～6月	前年同期比
長野県	国	10,403	57.3％	21,259	14.8％
	県	8,661	▲25.3％	27,808	▲20.2％
	市町村	7,477	▲19.1％	23,840	▲11.9％
	そのほか	8,085	▲46.6％	34,187	28.0％
	合計	34,627	▲18.8％	107,575	0.3％
北信地区	市町村	2,555	18.2％	5,269	▲29.8％
	(内長野市)	1,120	9.7％	1,532	▲61.5％

4～6月の新設住宅着工戸数

長野県の4～6月の新設住宅着工戸数は3,006戸（前年同月比▲8.6％）でした。持家が1,915戸（同8.7％）、貸家が671戸（同▲28.6％）、分譲が416戸（同▲1.4％）、給与が4戸（同▲97.6％）です。

北信地区の4～6月の新設住宅着工戸数は945戸（同4.1％）でした。持家が520戸（同7.0％）、貸家が253戸（同▲7.0％）、分譲が171戸（同14.0％）、給与が1戸（同——％）です。

●北信地区と長野県の新設住宅着工戸数

（2021年6月/2021年4月～6月累計）（資料：長野県）

		持家	貸家	分譲	給与	合計
北信地区	6月	235戸	135戸	49戸	1戸	420戸
	(内長野市)	155戸	118戸	36戸	1戸	310戸
	前年同月比	19.9％	25.0％	104.2％	——	28.0％
	(内長野市)	32.5％	51.3％	140.0％	——	47.6％
	4～6月	520戸	253戸	171戸	1戸	945戸
	前年同期比	7.0％	▲7.0％	14.0％	——	4.1％
長野県	6月	778戸	383戸	128戸	1戸	1,290戸
	前年同月比	9.0％	3.8％	0.0％	▲99.4％	▲6.0％
	4～6月	1,915戸	671戸	416戸	4戸	3,006戸
	前年同期比	8.7％	▲28.6％	▲1.4％	▲97.6％	▲8.6％

卸小売業

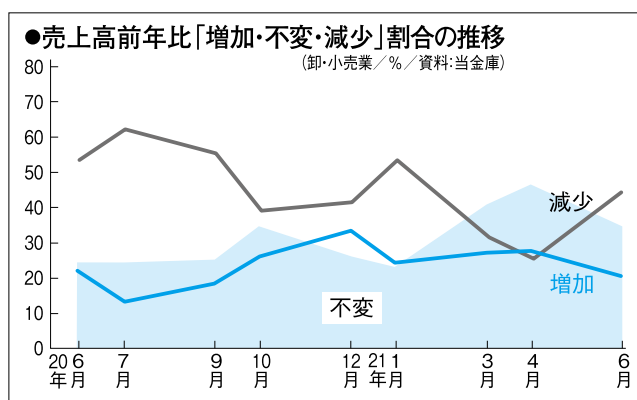
卸売業、小売業

「売上高」卸売・小売ともに減少

卸小売業の売上高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(21%)が7割減少し、「減少」割合(44%)が19割増加、「不変」割合(35%)が12割減少し、全体として売上は減少の状況です。

●売上高前年比「増加・減少」割合(%)

卸小売業	前回	27.9	46.5	25.6
	今回	増加 20.9	不変 34.9	減少 44.2
卸 売 業		23.5	23.6	52.9
小 売 業		19.2	42.3	38.5



【業種別】減少…卸売業・小売業

6月の消費者物価指数(長野市) 2015年基準=100

◇総合指数(確報値)……103.0(2カ月連続プラス)

(前月比+0.1%、前年同月比+0.2%)

上昇…「食料」「家具・家事用品」「光熱・水道」「教育」

下落…「被服及び履物」「保健医療」「交通・通信」

「教養娯楽」

◇生鮮食品を除く総合指数…102.9(3カ月連続プラス)

(前月比▲0.1%、前年同月比+0.1%)

企業からのコメント

★観光客の消費動向を見ると、飲食以外の出費を抑える傾向が目立つ。欲しくても必要な物以外は購入しないスタンス。(土産品)

☆志賀高原のホテルは、冬季から学生合宿を実施する予定の様子、注文が入りそうな見込みである。(食品卸)

★野菜の高値が一変、安値になっている。最近では、天候に左右されればなし。(青果卸)

★各種イベントや大会が軒並み中止になっており、売上回復の目処が立たない。(スポーツ用品店)

サービス業

サービス、輸送、外食、観光、不動産

「売上高」サービス・輸送・外食は減少

サービス業 売上高前年比「増加」割合は22割減少の33%、「減少」割合は22割増加の44%、「不変」割合は横ばいの22%と、売上は減少の状況です。

輸送業 売上高前年比「増加」割合は7割減少の43%、「減少」割合は9割増加の29%、「不変」割合は2割減少の29%と、売上は減少の状況。タクシーは減少、運輸は増加です。

外食業 売上高前年比「増加」割合は20割減少の30%、「減少」割合は5割増加の30%、「不変」割合は15割増加の40%と、売上は減少の状況です。

観光(旅館)業 入込数は平均で前月比28割の減少、前年同月比も26割の減少で、宿泊利用は伸び悩んでいます。

不動産業 需給状況は前回に比べ、「双方手控え・どちらも低調」は15割減少の40%、「引合いや増加」は9割減少の0%でした。

企業からのコメント

★燃料価格は、昨年対比で約4割アップ。収益に大きくのしかかってきている。

★コロナ禍なので、燃料が高騰したら軽油税を免除する等、国の助成が必要ではないか。(以上トラック)

★☆土地の引き合いや引き渡しに絡み、建築業者や工務店の「ウッドショック」の動向を見ることが必要だと思う。(不動産)

●売上高前年比「増加・減少」割合(%)

サービス業	前回	55.6	22.2	22.2
	今回	増加 33.3	不変 22.3	減少 44.4
輸送業	前回	50.0	30.0	20.0
	今回	42.9	28.5	28.6
うちタクシー業		50.0	0.0	50.0
うち運送業		40.0	40.0	20.0
外食業	前回	50.0	25.0	25.0
	今回	30.0	40.0	30.0

「今年度の採用」に及ぼした影響

「影響なし」68% 「新規採用を見送った」10% 「採用を増やした」7% 「採用を減らした」2%

「ビジネスの将来」に懸念すること

「市場の衰退や変動」60% 「収益性の低下」45% 「人材や人手不足」31% 「将来的な資金不足」19% 「事業継承」10%

「今年度の採用」に及ぼした影響 「影響なし」は7割弱ですが、「新規採用を見送った」や「採用を減らした」反面、「採用を増やした」もあり、3割弱(27%)の企業が何らかの対応をしています。

ビジネスの将来に関する懸念 「市場の衰退や変動」を懸念する企業が最も多く、以下、「収益性の低下」「人材や人手不足」「将来的な資金不足」の順となっています。

新型コロナウイルス感染症が
「今年度の採用」に及ぼした影響

「影響なし」	68%
「新規採用を見送った」	10%
「採用を増やした」	7%
「採用を減らした」	2%
「その他」	8%

新型コロナウイルス感染症が「今年度の採用に及ぼした影響」を聞きました。

「影響なし」は7割弱(68%)ですが、「新規採用を見送った」(10%)と「採用を減らした」(2%)の反面、「採用を増やした」(7%)もあって、3割弱の企業が何らかの対応を実施しています。

従業員規模で比べると、30人未満は「影響なし」が30人以上より12ポイント高く、30人以上は「採用を増やした」(15%)が11ポイント、「採用を減らした」(7%)が7ポイント、それぞれ30人未満より高くなっています。

業種別

製造業	「新規採用を見送った」	12%
建設業	「影響なし」	81%
卸小売業	「影響なし」	77%
サービス業	「新規採用を見送った」	17%
	「採用を増やした」	14%

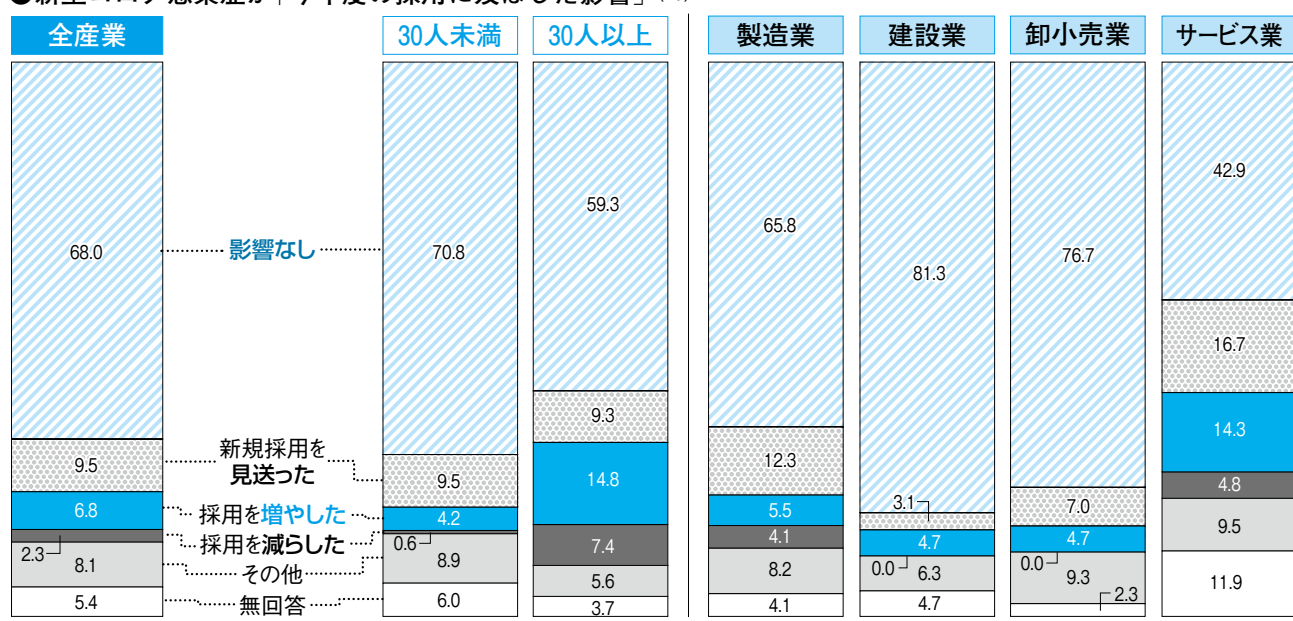
製造業 「影響なし」(66%)は平均よりやや低いのですが、「新規採用を見送った」(12%)は平均よりやや高くなっています。

建設業 「影響なし」(81%)は他業種に比べて最も高いのですが、他の3項目は他業種に比べて最も低くなりました。

卸小売業 「影響なし」(77%)は建設業に次いで高く、「採用を増やした」(5%)と「採用を減らした」(0%)は建設業とともに他業種に比べて最も低くなっています。

サービス業 「新規採用を見送った」(17%)、「採

●新型コロナウイルス感染症が「今年度の採用に及ぼした影響」(%)



用を増やした」(14%)、「採用を減らした」(5%)は他業種に比べて最も高く、他方「影響なし」(43%)は他業種に比べて最も低くなっています。

新型コロナ禍において「ビジネスの将来」の懸念材料

「市場の衰退や変動」	60%
「収益性の低下」	45%
「人材や人手不足」	31%
「将来的な資金不足」	19%
「事業継承」	10%
「異業種からの参入による競争激化」	7%
「デジタル化の遅れ」	6%
「特になし」	7%

「長引く新型コロナ禍において『ビジネスの将来』の懸念材料は何か」を聞いたところ、6割の企業が「市場の衰退や変動」(60%)を、5割近い企業が「収益性の低下」(45%)を挙げました。次いで「人材や人手不足」(31%)、「将来的な資金不足」(19%)、「事業継承」(10%)が2ケタとなっています。ほかに「異業種からの参入による競争激化」(7%)、「デジタル化の遅れ」(6%)が1ケタとなりました。

従業員規模で見ると、30人未満は「将来的な資金不足」(17%)が9割低いほかは全体とほぼ同等ですが、30人以上は「収益性の低下」(61%)が21割、「デジタル化の遅れ」(13%)が9割、「人材や人手不足」(35%)が5割、それぞれ高いほかは全体とほぼ同等です。

業種別

「市場の衰退や変動」…サービス 69%～建設 52%
「収益性の低下」……サービス 55%～建設 30%
「人材や人手不足」……建設 45%～卸小売 19%

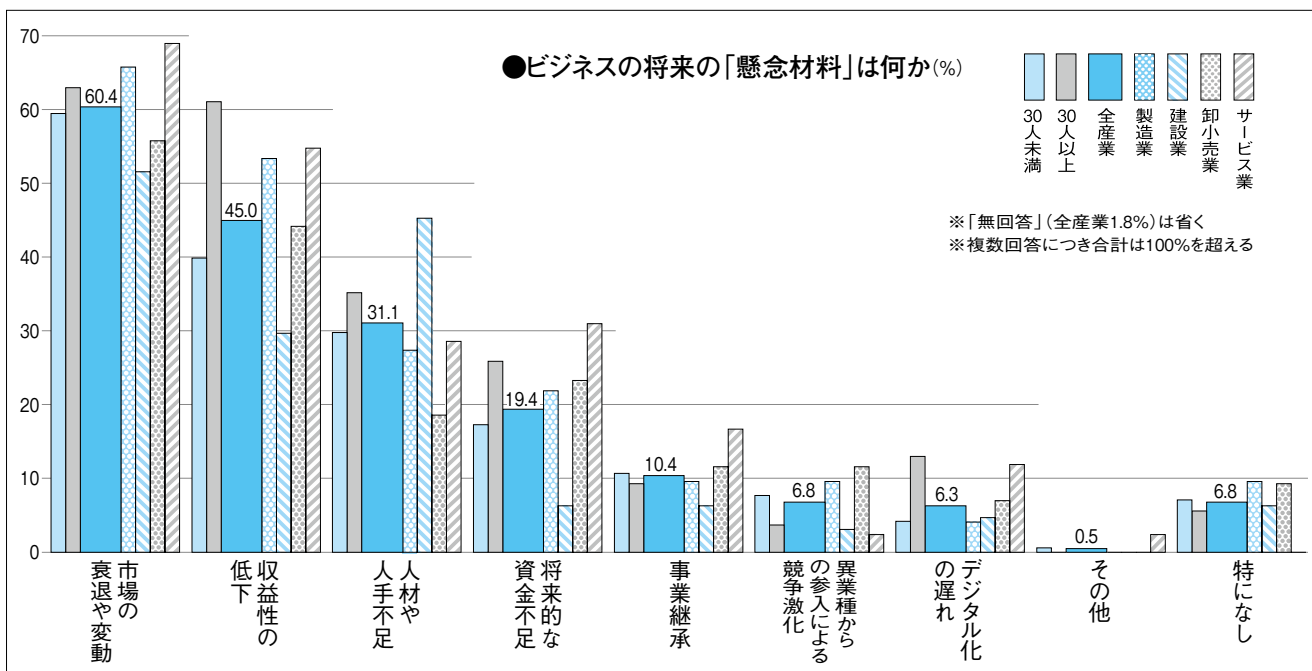
製造業 「特になし」(10%)が他業種に比べて最も高く、他方「デジタル化の遅れ」(4%)が他業種に比べて最も低くなりました。

建設業 「人材や人手不足」(45%)が他業種に比べて最も高く、他方「市場の衰退や変動」(52%)、「収益性の低下」(30%)、「将来的な資金不足」(6%)、「事業継承」(6%)が他業種に比べて最も低くなりました。

卸小売業 「異業種からの参入による競争激化」(12%)が他業種に比べて最も高く、他方「人材や人手不足」(19%)が他業種に比べて最も低くなっています。

サービス業 「市場の衰退や変動」(69%)、「収益性の低下」(55%)、「将来的な資金不足」(31%)、「事業継承」(17%)、「デジタル化の遅れ」(12%)が他業種に比べて最も高く、他方「異業種からの参入による競争激化」(2%)、「特になし」(0%)が他業種に比べて最も低くなりました。

◇次号は「新型コロナ対策で国や自治体の財政がひっ迫することによる影響」と「新型コロナ対策として一番必要なもの」を予定





バレエダンサーを育てる というより“教育の場所”

白鳥バレエ学園

塚田みほりさま

●学園設立の経緯をお聞かせください…

学園の設立者である母たまは、中学生の時^とに西洋舞踊と出会い、以後クラシックバレエに転向、厳しい練習に耐え努力を重ねた結果、バレエ教室のスタッフとして認められ、わずか17才にして新しく松代に出来たバレエ教室での指導を任されたそうです。小学生から大人までの15人くらいにレッスンをしたそうですが、臆することなく指導できたのも、父方の祖父がかなり昔から野沢温泉で代々“寺子屋”をやっていて、子どもたちに勉学を教えていたので、その思いが母に受け継がれていたからかもしれません。

以後、長野、上田、中野、須坂の各教室で指導し、結婚をしてからも国鉄マンであった夫の協力もあり仕事を続けていましたが、姉と生後間もない私の二人の子育てをするようになるとさすがに両立は難しく、いったんバレエから離れることを決め、15年間のバレエ生活を終了しました。

しかし、退職して1か月もたたないある日、以前バレエ教室で教えていた生徒さんの保護者の方がわざわざ自宅を訪れ、「子どもたちに、新たな感性のバレエを教える教室を開いてほしい」と母に懇願し、一旦はお断りしたものの幾度もの訪問に根負けし「新しいバレエ教室」を作ることになったそうです。また、教室の名前を決める際、皆さんからバレエといえば「白鳥の湖」というイメージが強い、けがれの無い純白の美しい白鳥はこれから船出する新しい教室に合っているとの意見が相次ぎ、「白鳥バレエ学園」に決まりました。1965年(昭和40年)、母が31歳の時

でした。母が目指した教室は親御さんも生徒さんも安心して通える、バレエという習い事を通じての人間教育の場であったのかもしれません。

●継承の経緯をお聞かせください…

私は幼い頃から、母の教室でクラシックバレエを習い始め、親交のあった松山バレエ団へレッスンに行くときもついて行き、子どもクラスでレッスンをしたり、色々なコンクールにも参加していました。東京の短大を卒業後は、松山バレエ団でレッスンを受け、総監督の推薦を受けてモナコ王立バレエ学校へ留学、その後はパリ等でレッスンを重ねて帰国しました。それ以降、白鳥バレエ学園の教師としての道を歩んでいます。また現在は、母に代わり学園の代表を務めています。

親子で運営しているからこそ、遠慮なく様々な意見が言えますし、その中から子どもたちのためのレッスン内容や舞台に向けたアイディアも浮かんできます。いろんな引き出しがあって「この子にはこうしてあげればいい」というふうに、生徒ひとりひとりの資質や能力に合った指導を心掛けています。現在、長野本部教室のほかに長野県下13カ所に支部教室があります。

●教える上でのポリシーをお聞かせください…

皆さんもご存知だと思いますが、2014年、当学園の教え子で当時、松本市在住の高校生、二山治雄さんが、世界で活躍するバレエダンサーの登竜門「ローザンヌ国際バレエコンクール」で優勝しました。日本人として3人目の快挙です。二山さんだけでなく、学園ではこれまでも海外で活躍する数多くのバレエダンサーを育てています。

しかし、学園にレッスンに来ている生徒さんのなかで、二山さんのように世界で活躍するバレエダンサーになれる子どもは、ほんの一握りです。素質があり、良いものを持っていてもなかなか容易なことではありません。多くの子どもたちは、バレエとは違う道に進み、それぞれ

の世界で活躍しています。

私は、学園をバレエダンサーを育てるというより、“教育の場所”として捉えています。子どもたちが健全で思いやりのある人間になってほしいと願っています。バレエの世界は華やかに見えますが、レッスンはとても厳しいものです。挫折を味わう時もありますが、その経験から何かを学び、次のステップへ向かえるものと考えています。

私は、子どもたちの進路や悩みごとに関して、一緒に考えてあげることが心掛けています。ただし積極的に私の方から声をかけることはありません。あくまでも子どもたちの自主性を重んじながら、子どもたちから声をかけられたら相談に乗るようにしています。

学校は6年や3年で卒業してしまいましたが、この学園はいつでもここに 있습니다。嬉しいことに、学園から巣立った生徒たちの多くは、長野に帰って来た際には教室に顔を出してくれますし、発表会の時にはサポートもしてくれます。先輩達がこの学園で学んだことを、今度は後輩のみんなに伝えていってくださることを願っています。

●コロナ禍の運営に関してお聞きします…

昨年、白鳥バレエ学園は、設立から55年目とい



「ローザンヌ国際バレエコンクール」で優勝した二山治雄さん

う節目の年を迎えました。例年であれば、県内の各地域で公演が続いているのですが、昨年ならびに今年と新型コロナウイルスの影響で、軒並み中止となっていました。

その中には、最終的な衣装合わせも済ませ、本番まであと数日という段階まで来ていた公演もありました。学園を創設以来、依頼された舞台を途中でやめるような経験は一度もありませんでしたが、非常に残念な出来事でした。

今年に入り、レッスンにも若干の制約はありますが、少しずつ通常の内容に戻りつつあります。また順次公演も再開しています。公演後に、観に来て下さった方々から、「生きる喜びや活力が湧いてきました」などを含め、多くの前向きな感想を寄せていただきました。そのような嬉しい言葉を力に、現在は、次回の公演に向けて準備中です。



母・たまゑ(右)と学園前で

●企業の概要

設立 1965(昭和40)年

代表者 塚田みほり

業務 教育学習支援

事業所 長野市大字南長野南県町639

URL <http://www.hakuchō-ballet.jp/index.html>

北信濃 江戸時代の風景

(84) 善光寺の東方

長野郷土史研究会会長

小林 一郎



今年度は、江戸時代に善光寺門前で売られていた観光案内図「信州川中嶋古跡順道手引草之図」を、少しずつ切り取って紹介します。

善光寺境内

左側(西側)に建ち並んでいるのは、現在の釈迦堂通りに沿った宿坊です。その中央に、釈迦涅槃像を安置する世尊院の釈迦堂があります。

現在は釈迦堂通りがありますが、昔は通りはありません。仲見世一帯は、現在地に本堂ができる以前に本堂があった場所で、堂庭と呼ばれる広場になっていました。その西側と東側に宿坊が建ち並んでいたのです。

釈迦堂通りに沿った宿坊の南には、ここには見えていませんが法然小路があって、やはり宿坊が建ち並んでいます。そこにあるのが正信坊の「法

然堂」です。浄土宗を開いた法然上人が、滞在した遺跡であるといえます。

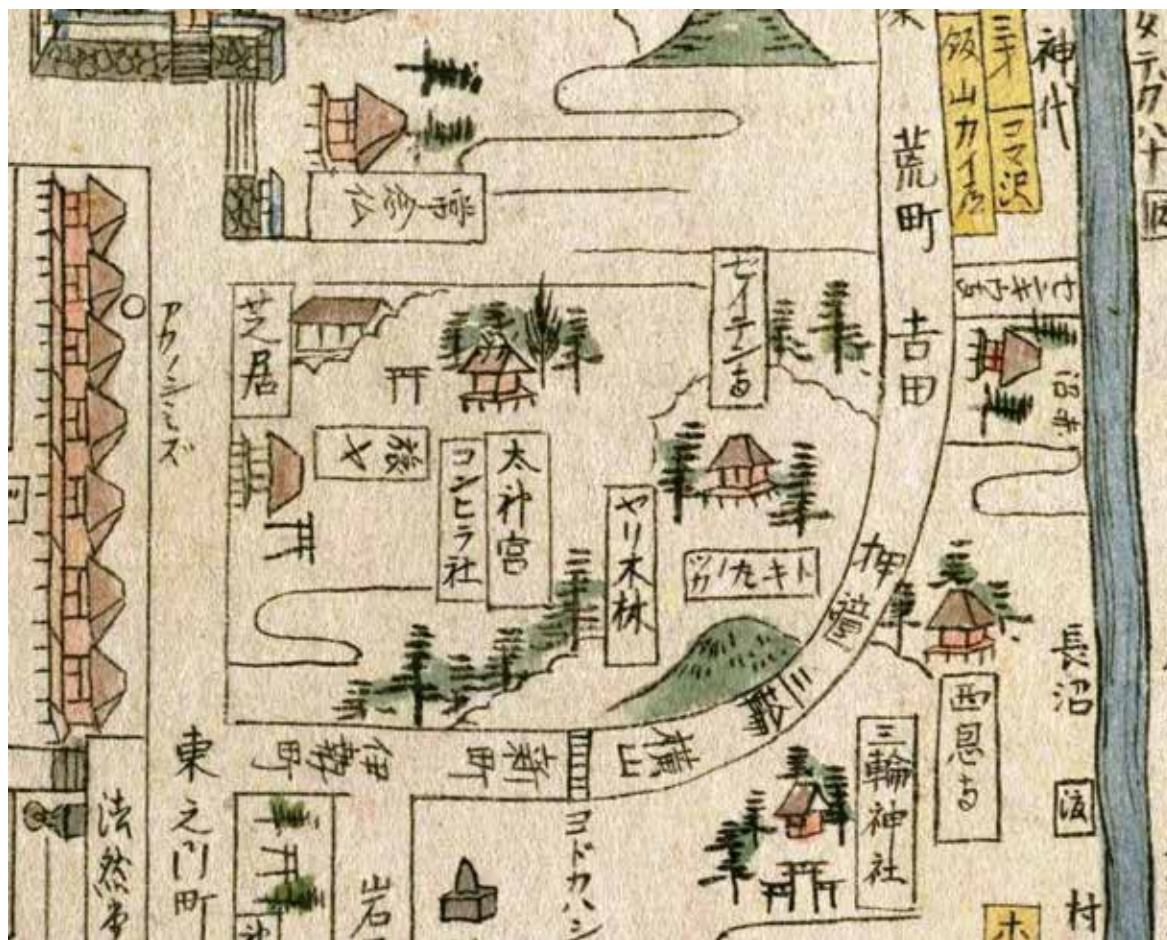
東之門町

釈迦堂通りや法然小路の東側には、「東之門町」の通りがあります。その北の突き当りは、寛慶寺(浄土宗)です。その南東(右下)にある「常念仏」と書かれた堂は、常念仏堂と呼ばれた宝林院です。ここは現在の城山小学校の場所で、常に念仏を唱える「常念仏」が行われていました。

寛慶寺を少し南に下った所に「アカノシミズ」があって、丸印が付けられています。これは弘法大師ゆかりの垢ノ清水で、善光寺七清水の1つに数えられていますが、現在はその跡もありません。

「アカノシミズ」の道を隔てた東側には「芝居」と書かれています。善光寺の堂庭には常に芝居小屋があって、御開帳にはことに何軒もできたようで

「信州川中嶋古跡順道手引草之図」の一部(国立国会図書館蔵「扶桑探勝図」より)



す。しかしそれらは常設の芝居小屋ではなく、仮設の芝居小屋でした。「東之門町」にも仮設の芝居小屋があったのでしょう。

伊勢社

「東之門町」の産土神は、伊勢社です。この図では中央の「大神宮」で、伊勢社を表す神明造りの社殿が描かれています。「コンヒラ社」(金比羅社)は、その境内社でしょう。

長野付近は、中世から伊勢の御師宇治家の檀家になっていました。宇治家は、善光寺の現在の本堂ができ

る直前の元禄15年(1702)に、東之門町に土地を購入して御旅屋(御師の宿泊所)を建て、その背後に伊勢社(「大神宮」)をまつりました。これが東之門町の伊勢社の始まりで、この図では通りに面して「旅や」(旅屋)も描かれています。

この図では、「東之門町」と「伊勢町」の角にも「神明宮」が描かれていて、「神」の字だけが見えています。この神社も伊勢社で、現在はありませんが、伊勢町の町名の起りはこちらの伊勢社です。

北国街道に沿って(三輪)

越後に通じる北国街道は、岩石町(「岩」だけが見える)を北進して「伊勢町」に突き当たり、右折します。ここが「新町」で、善光寺七橋の1つ、「ヨドガハシ」(淀が橋)を渡ります。淀が橋は現在は地名として知られていますが、本来は湯福川に架かる橋の名です。

北国街道はここから「横山」を通り、「三輪」村に入ります。左手には「トキ丸ノツカ」が描かれています。これは善光寺七塚の1つ、時丸塚です。

三輪時丸は、善光寺の由来を書いた善光寺縁起に登場する人物です。時丸は死後閻魔大王の前に引き出されましたが、母の胎内にいた時に善光寺に参詣していたことが明らかになって、閻魔大王は時丸を生き返らせました。その時丸の墓とされるのが、三輪8丁目の円通寺にある時丸塚です。

近くには、時丸が開いたという時丸寺があり、



美和神社の三輪鳥居

善光寺七寺の1つに数えられています。

三輪には善光寺七社の「三輪神社」(美和神社)があり、三輪鳥居と呼ばれる独特の鳥居も描かれています。

北国街道に沿って(吉田)

「三輪」を過ぎると「押鐘」があります。そこにあるのが、曹洞宗の「セイテン寺」(盛傳寺)です。街道の右側にある「西恩寺」は、長沼の西厳寺(真宗大谷派)の誤りかもしれません。

「吉田」には「センキウ寺」があります。これは善敬寺でしょう。北国街道はこの寺に突き当たって左折し、若槻地区にあった新町宿に入ります。この図では「荒町」と表記されています。

この宿場から分岐するのが「飯山カイ道」です。この街道は、「コマ沢」(駒沢)、「三才」などを経て、次の宿場は「神代」(豊野)です。

千曲川

この図の右端には、千曲川が描かれています。渡し場には、「渡」の文字があります。「タテガハナ」(立ヶ花)には、現在も立ヶ花橋があります。「長沼」の南の「渡」は、希野の渡しで、現在は橋がありません。

9月号は「下高井郡」の予定です。

この頁は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫](#) [すかい](#)

●「新型コロナウイルス対策」のために、強力な法律改正が必要か？

「必要である」54% 「必要ではない」17% 「わからない」30%

「新型コロナウイルス対策のために、外出を禁止したり休業を強制したりできるように、より強力な法律の改正が必要と考えるか」を聞きました。

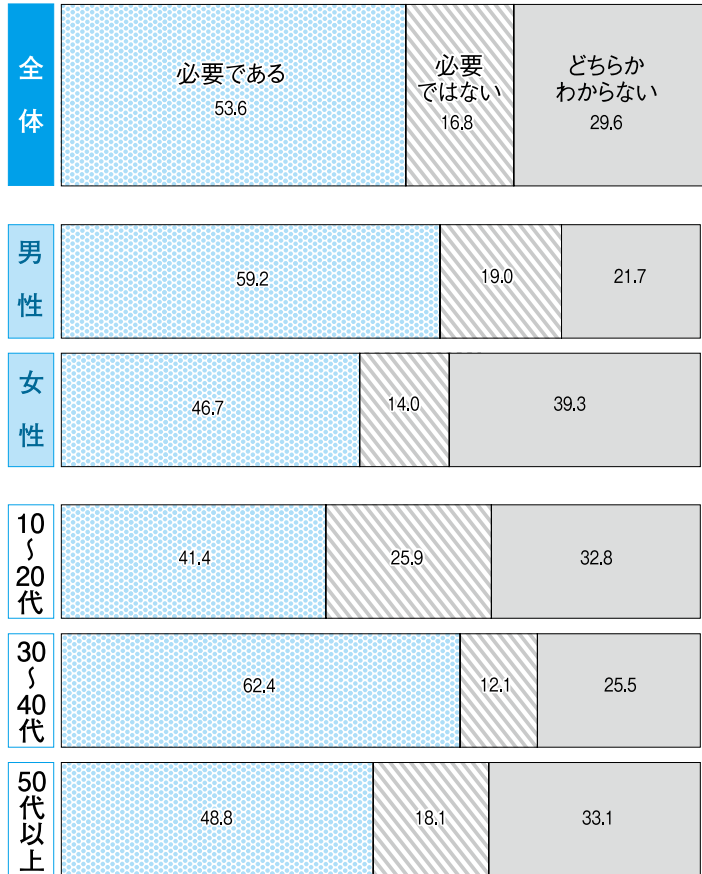
全体では、「必要である」が5割を超え(54%)、「必要ではない」が2割弱(17%)となりました。「どちらかわからない」は3割(30%)となっています。

男女別で見ると、男性の「必要である」59%、「必要ではない」19%に対し、女性は同様に47%、14%で、男性の方が「法律改正」の要望が高くなりました。

世代別で見ると、「法律改正」の要望が高いのは30～40代、50代以上、10～20代の順となっています。

「どちらかわからない」は、男女別では女性(39%)と男性(22%)の差は17%ですが、世代別で最も高い50代以上(33%)と最も低い30～40代(26%)の差は8%です。 〈当金庫・2021年6月調査〉

●新型コロナウイルス対策のために、外出を禁止したり休業を強制したりできるように、「より強力な法律の改正」が必要と思うか(%)



●みなさまの税務相談のご案内[9月]

(注)上の店名は開催場所、下の()内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日	午前	午後	開催日	午前	午後
9月 3日 金	城北支店 (若槻支店)	柳原支店 (東長野支店)	9月 17日 金	更北支店 (松代支店)	伊勢宮支店 (石堂支店)
7日 火	南支店 (七瀬支店)	吉田支店 (古里支店)	22日 水	若穂支店	小布施支店 (中野支店)
8日 水	大豆島支店 (長池支店)		24日 金	大門町支店 (桜枝町支店)	善光寺下支店 (権堂支店)
9日 木	墨坂支店 (須坂支店・太子町支店)	飯山支店 (山ノ内支店)	27日 月	本店営業部	
13日 月	屋代支店 (稲荷山支店)	戸倉支店 (上山田支店・坂城支店)	28日 火	本 部	
16日 木	篠ノ井支店 (川柳支店)	川中島駅前支店 (川中島支店)	29日 水	本 部	



長野信用金庫 総合企画部

本店 〒380-8686 長野市居町 133-1 TEL 026-228-0221(代)

長野信用金庫 URL <http://www.nagano-shinkin.jp/>

